

ご参加お待ちしております!!

6. 京都正平協の主な活動と今後の課題

- ・戦争と平和写真展
- ・ハンセン病回復者の人権問題
- ・外国人労働者問題
- ・沖縄基地問題
- ・憲法問題
- ・環境破壊の問題(気候変動、地球温暖化問題等)
- ・原発問題
- ・女性差別問題
- ・LGBTQ(性的多様性)問題
- ・死刑廃止問題
- ・アイヌの人びとの人権問題
- ・部落問題:大阪教会管区部落差別人権活動センターとの連携
- ・在日滞日外国人問題
- ・「ピースサイン」の活動に参加
- ・機関紙「てくてくーキリストと歩こうー」の発行
- ・月例会や学習会を開催



戦争と平和写真展



死刑廃止学習会



平和を求める祈り

わたしをあなたの平和の道具としてお使いください
憎しみのあるところに愛を
いさかいのあるところにゆるしを
分裂のあるところに一致を
疑惑のあるところに信仰を
誤っているところに真理を
絶望のあるところに希望を
闇に光を 悲しみのあるところに喜びを
もたらずものとしてください
慰められるよりは慰めることを
理解されるよりは理解することを
愛されるよりは愛することを
わたしが求めますように
わたしたちは 与えるから受け ゆるすからゆるされ
自分を捨てて死に
永遠のいのちをいただくのですから

京都司教区

Justice & Peace

正平協ってなあに？



平和をつくる人は幸いである

京都教区カトリック正義と平和協議会

〒604-8006 京都市中京区河原町通り三条上る

E-mail : seiheikyo@kyoto.catholic.jp

2021年5月作成

京都正平協の設立

1. 第二バチカン公会議を出発点として

公会議は、人類の大部分を今もなお苦しめている多くの艱難を考え、また貧しい人々に対する正義とキリストの愛を至るところで奨励するために、普遍教会のあるなんらかの機関を設立することが非常に時宜を得たことであると考え。この機関の任務は、貧しい地域の発展と諸国家の社会正義を推進するようカトリック共同体を激励することである。

(1965年公布 現代世界憲章90より)

2. 教皇庁正義と平和委員会の設立



シンポジウム「今こそ原発の廃止を」

(中央正平協脱核部会と共催)

1967年教皇パウロ六世が、全世界のカトリック教会に「正義と平和」にかかわる奉仕に献身する部局を立ち上げることを呼びかけたときから、その働きは、抑圧され、排除されがちな立場の弱い人びとの側に立つこと、を原則とします。

イエス・キリストの十字架に示された神の愛に応えるキリスト者とその教会は、世界が神の愛にふさわしい、人間が人間らしく生きることのできる社会となることを望んでいます。それは、この世界が「隣人愛」の発露である他者の尊厳・人権を基本とし、和解と平和、真理と正義、自由と愛が大切にされる、いのちのあふれる場にかかわることです。

委員会は、設立当初から各国の司教協議会に、各国における「正義と平和委員会」の設立を要請し、その目的は、教会全体が、正義と平和への奉仕に献身する「しるし」、そして「道具」となるように、ということでした。



(現地学習会 水平社博物館前)

3. 司教団の決定

日本司教団は「正義と平和委員会」を通して、1970年から、よりよい社会の実現のため、私たち一人ひとりが、さらに意識を高めて正義と平和のために働かなければならないとの宣言をしました。

また、1974年名称を「日本カトリック正義と平和協議会」と改名し、現代世界の暴力、経済的・文化的・民族主義的な分断、弱者を切り捨て、環境破壊、国家間の戦争や地域紛争、家庭や職場で起こるハラスメントなど、人間の尊厳を傷つけ損なうさまざまな問題を祈りのうちに見つめます。

こうした社会の傷は「いのち」をたいせつにしない「死の文化」の結果です。(ヨハネ・パウロ二世回勅『いのちの福音』)

これに対して私たちは「いのちの福音」による希望の立場から、社会に出向き、苦しむ人びとに出会い、共に歩み、その声に耳を傾けたいと願っています。



憲法9条

世界の宝

4. 京都教区正義と平和協議会の発足

正義と平和京都協議会は1977年9月に発足し、「部落問題」を優先課題として「福音からの問いかけを実践し、特に抑圧されている人びとの側にたつて行動を起こす」ことを目的として活動を始めました。

1992年9月に「日本カトリック部落問題委員会」が設置、2009年に名称をかえた「大阪教会管区部落差別人権活動センター」と互いに協力しあいながら『差別をなくす』ことを、キリスト者としての使命、福音宣教の課題と考えて取り組んできました。

また、平和問題、人権問題、環境問題、憲法問題など、さまざまな社会問題にも、市民団体と連携しながら取り組んでいます。

2015年京都教区カトリック正義と平和協議会と名称をあらためました。

京都教区正平協は「正義を行い、慈しみを愛し、謙虚に神と共に歩む」という設立の趣旨に基づき、抑圧する人も抑圧される人もいない世界の実現をめざしています。



ハンセン病問題学習会 講師：林力さん

(大阪教会管区部落差別人権活動センターと共催)

5. 正平協の全国各地へのひろがり

1974年国内外の兄弟姉妹と連携しながら、それぞれの地域の要請に応え、活動範囲を広げていきました。

京都正平協も、この地での活動を通して、神の国の実現を目指しています。